



はまゆう

第94号 青葉号 令和6年5月22日発行

発行：社会福祉法人信愛会

土肥ホーム

住所：〒410-3301 静岡県伊豆市小土肥787-2

電話：0558-98-2900

発行者：福室悦子

戸田デイサービスセンター

住所：〒410-3402 静岡県沼津市戸田1575-1

電話：0558-94-5550



新しい風に吹かれて

信愛会
理 念

愛・信頼・貢献

令和6年度 各部署所信表明



介護主任
土屋 春奈

土肥ホーム

日々の生活の中で、ご利用者様の声に耳を傾け、笑顔が多く穏やかに、ご本人様のペースで生活ができるようスタッフ一同努めていきたいと思っています。



介護主任
土屋 春奈

土肥ショートステイ

ご利用者様、ご家族様がショートステイにきて良かったと思っていただけるようなサービスを提供できるようスタッフ一同努めていきたいと思っています。



主任
荒川 ゆかり

菜の花ホーム

一緒に生活をする中で、季節を感じる様な雰囲気を作り、ご利用者様との関わりを大切にしながら日々笑って楽しく過ごしていきたいと思っています。



主任
新澤 常治

戸田デイサービス

皆様が健康を維持しながら在宅生活が送れるよう、機能訓練や物忘れ予防につながる選択プログラムに力を入れており、個別のニーズに応えていきます。



主任
浅賀 えみ子

土肥デイサービスいきいきクラブ

安心して外出でき、地域の方々とのコミュニケーションの場として、生活の張りになるようなサービス提供を目指します。



主任
長倉 千景

土肥戸田ホームヘルプ

在宅での生活が少しでもその人らしく、安心して、継続して生活できるようご利用者様のニーズに合わせた援助を心掛けて行っています。



センター長
黒川 正樹

土肥地区地域包括支援センター

新たに生活コーディネーターを配置し、地域住民活動の後方支援や土肥地区における地域課題解決に向けた各関係機関との連携を推進します。



主任
佐藤 孝之

土肥戸田居宅介護支援センター

住み慣れた土肥・戸田地区での生活が継続できるようご利用者様、ご家族様に寄り添い介護・福祉・医療・地域と連携したケアプラン作成をお手伝いします。



管理サービス課長
河内 政和

事務

この地域で、皆様の安心な生活に資するようなサービス提供と職員の生きがいを見いだせるような職場づくりを目指し、事務部門として職務に励んで参ります。



主任
鈴木 明美

厨房

今年度、厨房では味や栄養だけでなく季節感、量、盛付け、常に満足して頂けるよう改善に努めて参ります。安心、安全で食事を楽しんで過ごせますよう皆さんの健康と幸せを願い、日々心のこもった食事を提供致します。



研修委員会



周知しなければならない事、知ってほしい事などを発信し勉強する場を作る委員会です。職員全員が参加しやすい様に Zoom を活用した研修会で有意義のある研修を考えていきたいです。

土肥ホーム 各委員会の 案内



互助会



今季の互助会です。コロナの関係もあり中々大きな活動は出来ないのですが、その中でも出来ることを考え事業計画を立てていきたいと思います。

広報委員会 HP部会



令和6年度から新規メンバーになりました。これからも施設や土肥地域のことを掲載して、土肥ホーム・菜の花ホームのことを紹介していきたいです。

広報委員会 広報誌部会



広報誌部会では、広報誌「はまゆう」を通じて、土肥ホーム・戸田デイサービスの活動や取り組み等をお伝えしています。今年度はこの4名でお届けしていきます。

防災委員会



災害に備え、毎月1回地震・風水害などを想定した防災訓練を実施しています。また、小土肥地区地域防災協定に基づき地域住民の方々と連携した訓練にも取り組んでいます。

令和6年度事業計画

土肥ホーム・
戸田デイサービスセンター

施設長 福室 悦子



令和6年度は、今後の事業継続に向けた課題を明確に捉え、実践に繋げていく事を重点目標としました。

地域の慢性的な介護人材不足、職員現役世代の高齢化など、サービスを支える担い手不足は事業継続において最も重要な問題です。介護人材不足を解消に繋げるため、今後の業務に効率化として介護DXの推進を目指していきます。介護DXとは、介護現場にICT活用を取り入れ、従来の介護業務の見直しや効率化や生産性を向上していく取り組みです。介護人材の確保が困難な地域であるため、職員の働きやすさや離職防止や高齢になっても働くことが出来る職場環境をつくるため、先行導入したICT機器を活用し、更なる業務効率化を図っていきます。

また、入居系サービスの待機者不足も課題であるため、入居待機者の確保に繋げるよう従来の営業戦略だけでなく、新規獲得に向けた新たな戦略を模索していきます。

経営面でも常に適切な運営が行えるよう安定的な経営を目指し、老朽化設備の更新や突発的な修繕更新についても着手できるように、費用に耐えうる資金確保を目標とします。

災害に関しては、能登半島沖地震に災害応援職員を派遣しましたが、災害応援の経験を今後の備えとし、災害対策に活かすよう、事業復旧の体制づくりやBCPの見直し、備蓄の整備、更なる地域連携の強化を推し進めます。

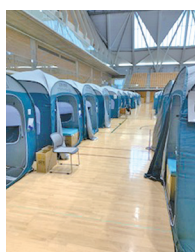
能登半島地震被災地を訪れて

施設サービス課長 梅原 将行
DWA T登録員

令和6年1月1日に石川県能登半島にて最大震度7の地震が発生しました。被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

今回の能登半島地震後の1月21日から1月24日の4日間、静岡DWA T(災害派遣福祉チーム)として、1.5次避難所となっている石川県金沢市のかなざわスポーツセンターに災害派遣活動を行ってきました。常時、200人から300人の避難者を、各県から派遣された災害派遣チーム100名前後で支援に入りました。以前、熱海市伊豆山土石流の派遣にも参加させてもらいましたが、その時はホテルが避難所でしたが、今回の避難所は大きな体育館にテントを張り、毎日30人から50人の避難者の入れ替えがありました。また、新型コロナウイルス、インフルエンザ、胃腸炎が流行する時期と重なり、感染症の蔓延にも注意が必要な状況でした。各県から派遣される災害派遣チームも毎日メンバーが入れ替わり、情報共有の難しさを痛感しました。

今後30年以内に南海トラフ巨大地震が発生する確率が70%~80%となっている今、今回の経験を無駄にしないよう対応、対策を考えていきたいと思います。



土肥・戸田 ホームページ

ホームページでは日常の様子や出来事、様々な取り組み等も公開中。是非、ご覧下さい。

戸田デイサービス



戸田デイサービスの日々 検索

土肥ホーム



土肥ホームの日々 検索

編集後記

皐月の風に攫われて青空へ舞う桜が美しくもあり儚く魅せる季節になりました。新たな生活を始めている方も多いと思います。私もその一人です。新しい環境で生活してみると知らなかった事を学び、当たり前になっていた事が有難い事だったと気づかせてくれます。今回の内容は新しいフレッシュな感じをテーマに作成したのでそこを感じて頂けたら嬉しく思います。これから始まる新年度も変わらぬメンバーで広報誌を作成しますので楽しんで頂けるように頑張りたいと思います。(広報誌部会 M☆RI)

新人紹介

令和5年9月以降
採用分

鈴木 心菜
(土肥ホーム介護職)

吉村 咲之介
(土肥ホーム介護職)

杉山 武臣
(土肥ホーム労務員)

勝呂 一郎
(土肥ホーム調理員)

松本 大貴
(土肥ホーム介護サポーター)